

2007年5月21日

外務大臣 麻生 太郎
防衛大臣 久間 章生
防衛施設庁長官 北原 巖男

} 様

町田市長 石阪 丈一

厚木基地におけるジェット機によるNLPに関する緊急要請

5月10日、14日、15日の3日間、激しい騒音を発生するジェット艦載機によるNLPが、約7年ぶりに厚木基地で行われた。

もとより、日米安保体制の重要性や、米軍の訓練の必要性も理解するものではあるが、人口密集地の中にある厚木基地におけるジェット機によるNLP実施は、多くの住民に耐え難い苦痛を与えるものであり、到底容認できるものではない。

しかも、地元自治体では、硫黄島での訓練日程を延長するなどして、厚木基地ではジェット機によるNLPを実施しないよう、再三にわたり要請したにもかかわらず、実施時刻直前になって、厚木基地のみが指定され、実施されたことは、誠に遺憾である。

については、改めて次のことを強く求めたい。

- 1 空母艦載機の厚木基地からの移駐を、2014年までに確実に実現するとともに、恒常的訓練施設を早期に確保すること。また、移駐の具体的なスケジュールや、移駐後の厚木基地周辺の騒音状況について、早期に情報提供すること。
- 2 移駐実現までの間も、多くの住民に影響を及ぼす飛行を抑制する等、人口密集地の中にある厚木基地周辺の騒音の軽減に最大限の努力をすること。
- 3 住民の苦痛を少しでも軽減、緩和するため、NLPに限らず、激しい騒音の発生が予想される飛行については、的確な情報を事前に提供するとともに、地元住民にも十分な説明を行う体制を整備すること。